

無料サンプル版

## 熱情の胎内

～風邪で過敏な身体は、いつもより淫らに締めつける～

蓮 × 凧

凧：「蓮さん……僕、熱があるみたいです……寒くて、なんだか少し怖くて……」

蓮：「今すぐ会社を出る。動くな。15分で行く」

蓮：「温かいおかゆを買ってきた。よく言えたな、ナギ」

今では、蓮の優しい手つきのせいで、ナギの心臓は熱よりも激しく高鳴っていた……。

## 熱に浮かされるナカ

温かいタオルで、ナギの汗ばんだ首筋をそっと拭った。だが、俺の指先が彼の鎖骨に触れた瞬間、ナギは甘くか細い声を漏らし、毛布の下で無意識に腰をビクつかせた。

「れ、蓮さん……手が……冷たくて、気持ちいいです……」

ナギは荒い息を吐きながら、熱で潤んだ虚ろな瞳で俺を見上げた。

高熱のせいで、ナギの全身は過敏に跳ね上がっている。俺がほんの少し触れるだけで、彼は快感に身体を震わせた。赤く火照った肌を見つめ、荒く重い呼吸を耳にしているうち、俺の頭の中で何かがぷつりと切れた。もう、紳士の振りなんてしていられなかった。

---

—— サンプルはここまで ——

この続きは、DLsiteで販売中の本編でお楽しみいただけます！